



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年8月9日

東

上場会社名 シップヘルスケアホールディングス株式会社 上場取引所
 コード番号 3360 URL <http://www.shiphd.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長 CEO (氏名) 古川 國久
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 横山 裕司 (TEL) 06-6369-0130
 四半期報告書提出予定日 2019年8月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	109,005	10.6	3,030	10.2	3,242	8.7	1,855	4.7
2019年3月期第1四半期	98,580	9.9	2,749	8.6	2,984	7.8	1,772	16.6

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 1,719百万円(△17.3%) 2019年3月期第1四半期 2,078百万円(0.4%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2020年3月期第1四半期	38	96	35	36
2019年3月期第1四半期	35	19	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	294,399	31.9	96,824	31.9	93,828	31.9
2019年3月期	299,212	31.9	97,734	31.9	95,420	31.9

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 93,828百万円 2019年3月期 95,420百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
2019年3月期	円	銭	円	銭	円	銭
2020年3月期	—	0.00	—	70.00	70.00	—
2020年3月期(予想)	—	0.00	—	75.00	75.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期(累計)	210,000	3.9	6,500	3.7	7,000	6.0	4,000	0.1	83	98
通期	466,000	4.9	18,500	3.1	19,300	4.1	11,800	5.0	247	74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期1Q	50,834,700株	2019年3月期	50,834,700株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	3,204,566株	2019年3月期	3,204,535株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期1Q	47,630,157株	2019年3月期1Q	50,379,982株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、企業収益が概ね堅調に推移するとともに、雇用情勢や個人所得が順調に拡大し、緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、米中間の通商問題を始め世界経済の動向が不透明さを増していることや、今後予定される消費税率の引き上げに対する心理的影響により、依然として不安定な状態が続いております。

当社グループの属する医療業界におきましては、医療の高度化・少子高齢化に伴い増加し続ける医療費を背景に医療制度の改革が進められており、医療機関・業界各社において中長期的に幅広い連携や効率的な業務体制の構築が求められております。

このような経済状況の下、当社グループにおきましては、トータルパックプロデュース事業におけるプロジェクト案件が順調に推移するとともに、ライフケア事業におきましても前期に引き続き入居率が順調に積み上がりました。また、昨年10月より治療を開始した大阪重粒子線センターでは開設初期費用を計上しておりますが、治療開始後の患者数増加に伴い、3室目の治療室についても、当初計画通り本年10月の稼働に向け準備を進めております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は109,005百万円（前年同四半期連結累計期間比10.6%増）、営業利益は3,030百万円（前年同四半期連結累計期間比10.2%増）、経常利益は3,242百万円（前年同四半期連結累計期間比8.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,855百万円（前年同四半期連結累計期間比4.7%増）となりました。

セグメントごとの経営成績を示しますと次のとおりであります。

① トータルパックプロデュース事業

トータルパックプロデュース事業におきましては、プロジェクト案件が順調に推移いたしました。一方で、大阪重粒子線センター及びバングラデシュ病院事業の立ち上げのため、前期に引き続き初期費用を計上しております。

この結果、売上高は19,332百万円（前年同四半期連結累計期間比13.3%増）、セグメント利益（営業利益）は1,141百万円（前年同四半期連結累計期間比3.0%減）となりました。

② メディカルサプライ事業

メディカルサプライ事業におきましては、昨年の償還価格改定の影響により利益確保は引き続き厳しい状況が続いておりますが、グループ内での連携・運営効率化等により概ね計画通り推移いたしました。

この結果、売上高は75,882百万円（前年同四半期連結累計期間比11.5%増）、セグメント利益（営業利益）は788百万円（前年同四半期連結累計期間比11.9%増）となりました。

③ ライフケア事業

ライフケア事業におきましては、全国一体経営が定着し経営効率化が進んだこと及び、入居率の一層の積み上げが進み、堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は5,976百万円（前年同四半期連結累計期間比0.9%増）、セグメント利益（営業利益）は441百万円（前年同四半期連結累計期間比13.2%増）となりました。

④ 調剤薬局事業

調剤薬局事業におきましては、調剤報酬改定の影響が前年に比べ緩和されたものの、消費税率の引き上げが予想されること等により、経営環境は依然として厳しい状態で推移しております。

この結果、売上高は6,621百万円（前年同四半期連結累計期間比6.1%増）、セグメント利益（営業利益）は624百万円（前年同四半期連結累計期間比25.4%増）となりました。

⑤ その他

その他におきましては、動物病院の運営及びセキュリティサポート会社の業績が、概ね計画通り推移いたしました。

この結果、売上高は1,192百万円（前年同四半期連結累計期間比6.0%減）、セグメント利益（営業利益）は99百万円（前年同四半期連結累計期間比5.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産は294,399百万円となり、前連結会計年度末と比べて4,812百万円減少いたしました。その主な要因は、現金及び預金が6,921百万円、商品及び製品が1,233百万円、電子記録債権が1,129百万円増加した一方、受取手形及び売掛金が15,078百万円減少したこと等によるものであります。

負債は197,574百万円となり、前連結会計年度末と比べて3,903百万円減少いたしました。その主な要因は、電子記録債務が2,736百万円増加した一方、支払手形及び買掛金が4,494百万円、未払法人税等が2,987百万円減少したこと等によるものであります。

純資産は96,824百万円となり、前連結会計年度末と比べて909百万円減少いたしました。その主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益により利益剰余金が1,855百万円増加した一方、配当金の支払により利益剰余金が3,334百万円減少したこと等によるものであります。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間末の自己資本比率は前連結会計年度末と同率の31.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、概ね当初予定通りに推移しており、2019年5月10日に公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	72,393	79,314
受取手形及び売掛金	97,975	82,896
電子記録債権	3,232	4,362
リース投資資産	3,801	3,638
商品及び製品	14,034	15,268
仕掛品	1,471	1,833
原材料及び貯蔵品	648	710
その他	8,109	9,209
貸倒引当金	△95	△96
流動資産合計	201,571	197,136
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	18,907	18,731
土地	14,451	14,449
賃貸不動産（純額）	13,209	12,946
その他（純額）	8,084	8,705
有形固定資産合計	54,652	54,833
無形固定資産		
のれん	9,304	8,946
その他	1,029	972
無形固定資産合計	10,333	9,918
投資その他の資産		
投資有価証券	14,683	14,685
長期貸付金	9,531	9,442
その他	11,062	10,628
貸倒引当金	△2,624	△2,246
投資その他の資産合計	32,654	32,510
固定資産合計	97,640	97,262
資産合計	299,212	294,399

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	85,371	80,876
電子記録債務	20,772	23,508
短期借入金	1,030	1,030
未払法人税等	4,139	1,152
賞与引当金	2,032	2,405
その他	14,830	16,573
流動負債合計	128,176	125,547
固定負債		
新株予約権付社債	25,116	25,110
長期借入金	39,700	38,533
退職給付に係る負債	2,811	2,781
資産除去債務	628	601
その他	5,043	4,999
固定負債合計	73,300	72,027
負債合計	201,477	197,574
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,553	15,553
資本剰余金	23,921	23,921
利益剰余金	66,372	64,894
自己株式	△13,447	△13,448
株主資本合計	92,399	90,920
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,079	3,067
為替換算調整勘定	△84	△187
退職給付に係る調整累計額	26	28
その他の包括利益累計額合計	3,021	2,907
非支配株主持分	2,314	2,996
純資産合計	97,734	96,824
負債純資産合計	299,212	294,399

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	98,580	109,005
売上原価	88,650	98,739
売上総利益	9,930	10,265
販売費及び一般管理費	7,180	7,234
営業利益	2,749	3,030
営業外収益		
受取利息	75	84
受取配当金	90	188
負ののれん償却額	58	58
持分法による投資利益	34	31
貸倒引当金戻入額	2	—
その他	69	98
営業外収益合計	330	461
営業外費用		
支払利息	64	63
貸倒引当金繰入額	—	170
その他	32	15
営業外費用合計	96	248
経常利益	2,984	3,242
特別利益		
固定資産売却益	57	0
特別利益合計	57	0
特別損失		
固定資産売却損	—	2
固定資産除却損	0	0
投資有価証券評価損	2	—
特別損失合計	3	2
税金等調整前四半期純利益	3,038	3,241
法人税、住民税及び事業税	1,118	1,288
法人税等調整額	181	70
法人税等合計	1,300	1,358
四半期純利益	1,738	1,883
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△34	27
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,772	1,855

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	1,738	1,883
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	244	△12
為替換算調整勘定	88	△153
退職給付に係る調整額	6	2
その他の包括利益合計	339	△163
四半期包括利益	2,078	1,719
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,065	1,742
非支配株主に係る四半期包括利益	12	△22

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	トータル バック プロデュース 事業	メディカル サプライ 事業	ライフケア 事業	調剤薬局 事業	計				
売上高									
(1) 外部顧客に 対する売上高	17,070	68,078	5,921	6,242	97,312	1,268	98,580	—	98,580
(2) セグメント間の 内部売上高 又は振替高	348	266	45	451	1,112	61	1,173	△1,173	—
計	17,418	68,345	5,966	6,694	98,425	1,329	99,754	△1,173	98,580
セグメント利益	1,177	704	390	498	2,769	105	2,875	△125	2,749

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、動物病院事業、理化学機器販売事業、セキュリティ事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△125百万円には、セグメント間取引消去△19百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△105百万円等が含まれております。全社費用は、主に親会社本社の営業費用及び報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれんに関する情報

当第1四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年6月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	トータル バック プロデュース 事業	メディカル サプライ 事業	ライフケア 事業	調剤薬局 事業	計				
売上高									
(1) 外部顧客に 対する売上高	19,332	75,882	5,976	6,621	107,812	1,192	109,005	—	109,005
(2) セグメント間の 内部売上高 又は振替高	474	239	45	451	1,210	76	1,286	△1,286	—
計	19,807	76,121	6,021	7,072	109,022	1,268	110,291	△1,286	109,005
セグメント利益	1,141	788	441	624	2,996	99	3,095	△64	3,030

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、動物病院事業、理化学機器販売事業、セキュリティ事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△64百万円には、セグメント間取引消去△23百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△41百万円等が含まれております。全社費用は、主に親会社本社の営業費用及び報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれんに関する情報

当第1四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。